令和7年度 地域連携推進会議 議事録

令和7年度 地域連携推進会議 議事録			
事業所名	障がい者支援施設 熊本ライトハウスのぞみホーム		
開催日時	令和7年10月17日(金)14:00~16:00		
開催場所	熊本ライトハウス 多目的ホール		
	構成員	人数	備考
	事業所職員	4	施設長、副施設長、事務長、サービス管理責任者
	入居者	1	
	入居者ご家族	1	
出席者	地域の関係者	2	校区社協民児委員長 東部まちづくりセンター職員
	福祉に知見を有する方	1	チャプレン
	経営に知見を有する方		
	市町村担当職員		
議題	1. 開会・施設長あいさつ		
	2. 出席者紹介		
	3. 議事		
	(1)施設等やサービスの透明性・質の確保		
	(2)施設と地域の連携		
	※施設見学		
	(3)利用者の権利擁護		
	(4)質疑、意見交換		
	4. 閉会		
協議内容・	1. 2 略		
意見等			
	3. (1)施設等やサービスの透明性・質の確保		
	・施設の歴史・基本理念・基本方針・入所者の様子・職員の働き		
	(2)施設と地域の連携		
	・ふれあいランチ ・夏祭り ・ふれあいバザー ・クリスマス会		
	・園内消防訓練		
	・当施設も地域の一員として地域に出て行きたいことを説明		
	※施設見学		
	・体調不良など自身のカードで見える化し発信している工夫は良かった。		
	・職員の目標を掲示し PDCA をまわしているとのことでスキルアップに繋がると感じた。		
	また利用者1人1人違うので特性に合わせた支援プランと支援をさせているのだと感じ		
	た。		
	・数年施設へ訪れているが居室まで拝見したのは初めてだった。また午後の時間は利用者		
	も職員もゆっくり過ごせている様子を見れて良かった。		
	※居室内見学は当該利用者の了承を頂き実施		
	・室内もきれいで開放的、職員の笑顔もあり温かい雰囲気を感じた。		
	・見学中興奮される方がおられたが、職員は冷静に対応しまたその方の役割(お手伝い)を		
	提示することで落ち着かれる様子が見れた。		

協議内容・

意見等

(3)利用者の権利擁護

- ・不適切支援、事故、ヒヤリハット、苦情などのその後の組織としての対応
- ・第三者委員会年2回開催 ・職員セルフチェックリスト年2回実施
- ・家族アンケート ・利用者会議月1回

(4)質疑、意見交換

- ・消防訓練は毎年されているのか?
 - ⇒消防署の立合は行っていたが、今年度は初めて消防団や自治会にも声をかけ参加が 叶った。実際の避難の様子を見ていただきその後活発な意見交換ができた。
- ・地域として交流や連携の在り方も検討できるのではないか。例えば高齢者サロンで実施 しているeスポーツを一緒にする、子ども食堂(お~さ毎月第4土曜)への参加、等。 ⇒(利用者)野球が好きな人もいる。私もタブレットで聞いたりする(興味を示される)。
- ・ふれあいランチの配食に利用者の方も出向くことで関係性が豊かになるのではないか。 また地域の方も利用者理解に繋がるのではないか。
- ・今後地域とやっていきたいことは?
 - ⇒地域の行事などにも参加できればと思っている。
 - ⇒立地場所としても良く、交通の便も良いこと、近くに動植物園や小学校、健軍商 店街などもあるのでできそうなことはありそうですね。
- ・勤務体制など大変だと思う。人手不足や働き手、働き方も大切だろう。他施設の視察を した際、会議等に利用者が自由に参加されたり、職員の負担軽減のため補助金等も活用 しながら入浴支援の器械導入もされていた。また職員の最高齢は83歳とのことで時間等 の配慮をしながら人材確保に繋げていた。
 - ⇒職員が笑顔で働けるような職場を目指している。
- ・開所当初からお世話になっており、帰省した際も2日目には『帰る』というのでここが 安心できる場所になっているのだと思い、感謝している。
- ・室内もきれいに整理整頓されていた。また良い意味で利用者と職員が一体化・同一化されており、それぞれの隔たりを感じなかった。